

大きく変わる部落史教育

日時 2017年5月26日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 上杉 聰（委嘱研究員）

1970年ころから全国的に進められた学校教育における部落問題の授業は、「土農工商えた非人」と「江戸時代に作られた」の2本柱で教えられてきました。しかし2001年、それらは教科書からすべて消え、代わりに「武士・百姓・町人の3身分」とその外部に「穢多・非人」、「部落のはじまりは中世」として描かれ始めました。

教科書のこの変化は、歴史研究の地道な進展がもたらしたものです。このため、部落へのイメージを根底から変え、中世の庭造りや能への部落の貢献、渋染一揆、日本国憲法などとの関連で部落の人々を明るく描くものが多くなりました。`暗くみじめなイメージ、が一変したのです。

ただ、教科書が変化してしばらくは、多くの学校現場の先生方が、急激な教育内容の変化について行けず、古い考えをそのまま教え続ける場合も少なくありませんでした。学生は、かわり映えしない講義を受け、社会へ出て行くしかないケースも数多く残っていました。

しかし、教科書のこうした変化を受け入れた先生方による新しい教育実践が学校現場（大学を含む）でだいに積み重ねられ、社会啓発の場でもその成果を見せるようになってきました。さらに昨2016年12月には「部落差別の解消の推進に関する法律」が成立、施行されました。この法律は、部落差別解消に向け、教育と啓発の占める役割を高く掲げました。これは、かつての同和対策事業の法律と異なり、人々の差別意識を変えようとするものですから、教育と啓発に力点を置くのは当然のことです。

こうして部落史教育は今、歴史研究の進展、教育実践や啓発の新たな試み、それを後押しする法律の制定に支えられ、大きく変化し発展する時期を迎えようとしています。

本講座では、教科書の変化をDVDやパワーポイントの映像を使ってご紹介しながら、それらが歴史研究の堅固な土台の上に立てられていることを、史料を使いお示ししたいと思います。

* * *

●聴講無料 予約は不要です。多数のご来場を歓迎します。
手話通訳が必要な場合は、5月11日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。

第91回 10月20日（金）13：00～14：30 「障がい者スポーツの現状と今後の取り組み」（仮題）

第92回 11月24日（金）13：00～14：30 「スポーツとジェンダー・LGBT」（仮題）

会場は、尚文館 1階 マルチメディアAV大教室



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/hrs>